

物流の合理化

製品の国内外輸送を担当する物流部門では、国内の荷量変動・海外生産拠点の荷量増に対して、輸送ルート統合・他社混載化・集約化と物流の合理化改善に取り組んでいます。「儲かる環境活動」をテーマに輸送工程のCO₂排出量低減を推進しています。

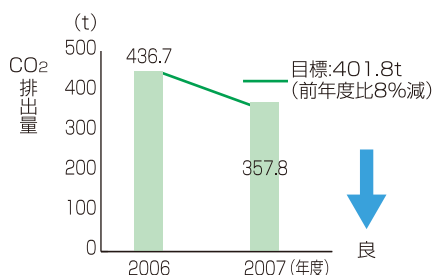
2007年度の活動計画と実績

○ 成果大

目的	取り組み項目	実施内容
輸送工程のCO ₂ 低減	物流の合理化	○ 荷量変化に伴う、個建て化 [*] への変更 ○ 荷量変化に伴う、輸送ルート統合
廃棄物低減	木製パレットの廃棄量低減	・パレットの材質転換(樹脂性パレットへ変更) ・木製パレットを補修して再使用し、廃棄量の低減

※箱単位で運搬を委託すること

輸送工程のCO₂排出量

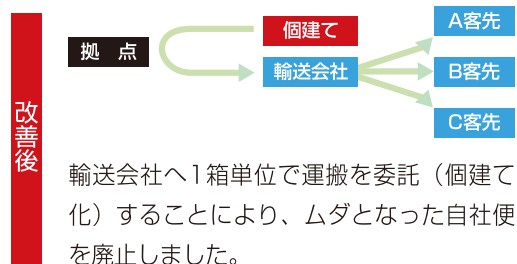
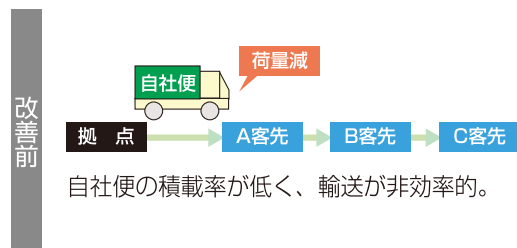


総括

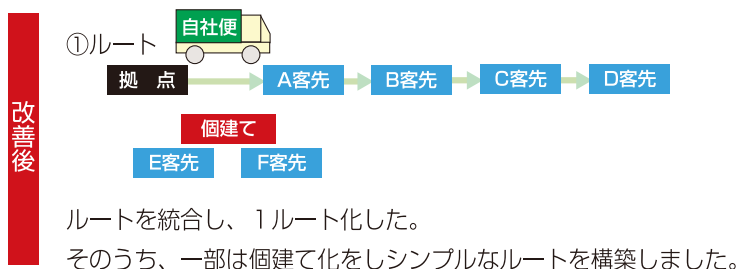
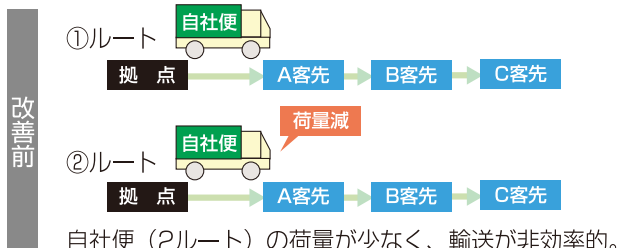
荷重の変動に対して、シンプル・スリム化という考えのもと、輸送トラックに同乗し、対策するという現地現物の姿勢を忘れずに活動した結果、満足できる結果を残すことができました。その背景には、仕入先やお客様の協力があったことが今年度の結果に繋げることができました。

取り組み事例

■ 個建て化



■ 輸送ルート統合



2008年度の目標と重点実施項目

目的	目標	実施内容
1. 輸送工程のCO ₂ 低減	物流改善活動で輸送工程のCO ₂ 低減 10%	・輸送ルート、積載率向上の継続的改善
2. 廃棄物低減	梱包資材使用量の低減 10%	・不要空箱の再利用の継続 ・梱包資材のリターンブル化の実施

次年度の取り組みは、更なる改善を行い、物流における改革を起こせる姿をめざします。具体的には、鉄道輸送の検討、当社のグループ会社、さらには豊田地区他社との共同混載化等、多くの手段を用いてチャレンジしていきます。